

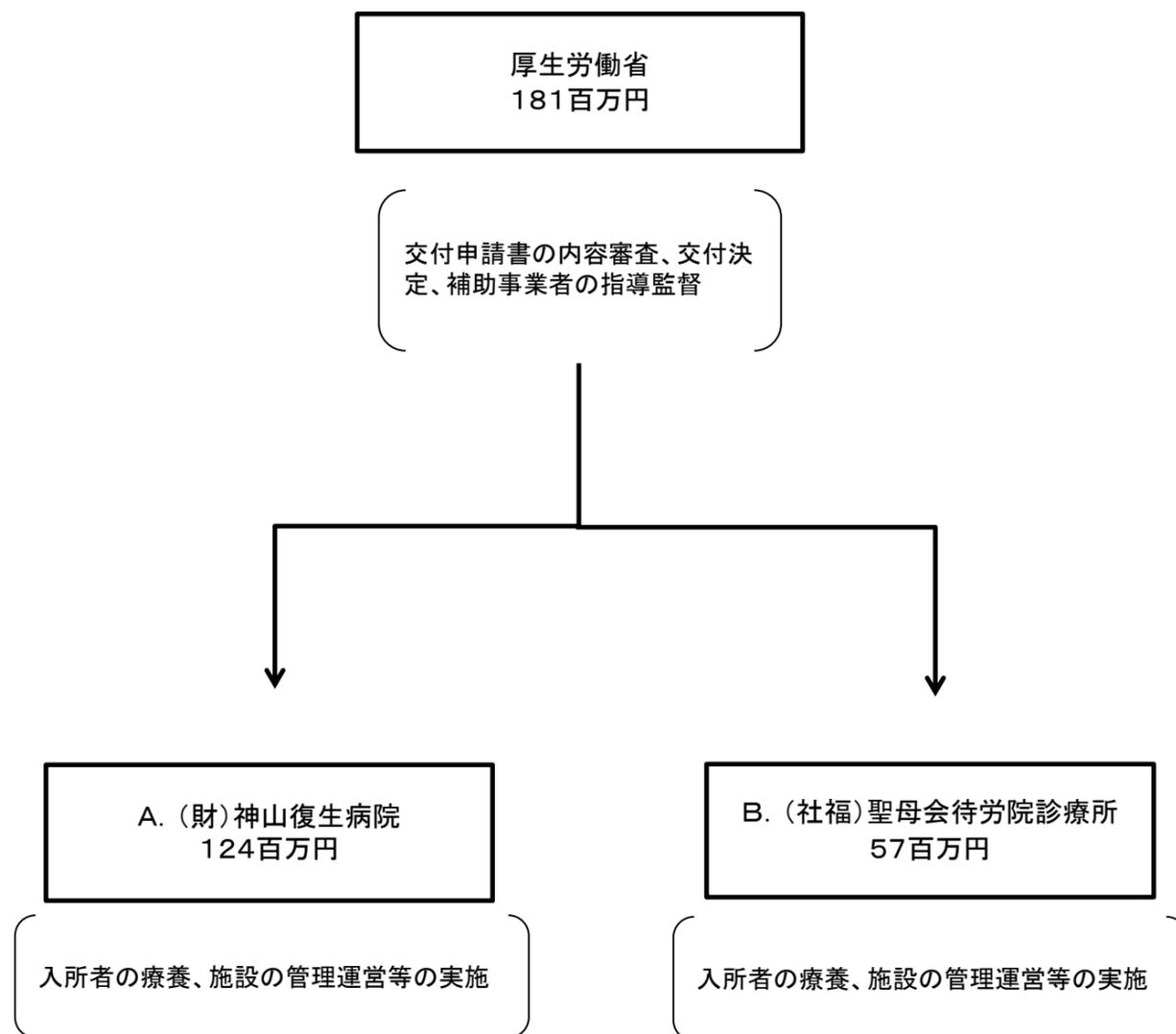
## 平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	私立ハンセン病療養所補助金		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和26年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第9条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第9条」に基づき、国内1カ所の私立ハンセン病療養所(神山復生病院(静岡県)。平成24年度までは、待労院診療所(熊本県)もあったが、平成24年11月2日に患者が不在となったため、閉院した。)で行われている入所者に対する必要な療養の確保を図るため運営費等の補助を行う。 【補助率 10/10】							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	私立ハンセン病療養所の入所者に対して必要な療養を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	239	238	217	124	124	
	執行額	239	238	181				
	執行率(%)	100	100	83.4				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	私立ハンセン病療養所入所者に対する医療及び福祉の向上が図れる。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	交付先である私立ハンセン病療養所数		活動実績 (当初見込み)	カ所	2	2	2	-
					( )	( )	(1)	
単位当たりコスト	90,500,000(円/カ所)		算出根拠	181百万円 / 2 = 90,500,000円(/カ所)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	ハンセン病療養所費補助金	124	124					
	計	124	124					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、事業目的に即したものである。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	補助対象からの申請が、当初の見込みより少なかったため、不用となったものである。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病の患者であった者等が受けた身体および財産に係る被害、その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されており、ハンセン病の患者であった者等が、地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようになるための基盤整備は喫緊の課題とされている</p> <p>・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第9条に基づき、入所者に対する必要な療養が確保されるよう、必要な措置を講ずるものであり、適切に実施されている。</p> <p>・平成24年度は、当初2カ所の私立ハンセン病療養所に交付していたが、年度途中で1カ所が廃止されたため、不用が生じることとなった。25年度は適正かつ効率的な執行に努めていきたい。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	私立ハンセン病療養所入所者に対して必要な療養を行い、入所者の福祉の増進を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	279	平成23年	133	平成24年	106

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(一財)神山復生病院			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員基本給等	87			
庁費	備品費、消耗品費、印刷製本費等	36			
旅費	職員等派遣旅費	1			
計		124	計		0
B.(社福)聖母会待労院診療所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員基本給等	35			
庁費	備品費、消耗品費、印刷製本費等	21			
旅費	職員等派遣旅費	1			
計		57	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財) 神山復生病院	入所者の療養、施設の管理運営等の実施	124		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社福) 聖母会待労院診療所	入所者の療養、施設の管理運営等の実施	57		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					